別表

|  |  |
| --- | --- |
| 1853  1867  1868  1885  1889  19C末-1945  1894-1895  1902-1923  1904-1905  1905  1912  1914-1918  1917-1922  1921  1926  1929  1930.4  1930.11  1931.9-1933.5  1931.12-1932.5  1932.5  1932.5-1934  1933  1937.6-1941.10  1937.7-1945  1940  1940前後  1941.10-1944.7 | 黒船ペリー来航  大政奉還  明治元年  内閣制度制定 　　初代内閣総理大臣伊藤博文  大日本帝國憲法公布、翌年施行 天皇ハ陸海軍ヲ統帥ス 天皇ハ帝国議会ノ協賛ヲ以テ立法権ヲ行フ 國務各[大臣](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%A4%A7%E8%87%A3)ハ[天皇](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%A4%A9%E7%9A%87)ヲ[輔弼](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E8%BC%94%E5%BC%BC)シ其ノ責ニ任ス 　 [司法](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%8F%B8%E6%B3%95)権ハ[天皇](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%A4%A9%E7%9A%87)ノ名ニ於テ[法律](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%B3%95%E5%BE%8B)ニ依リ[裁判所](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E8%A3%81%E5%88%A4%E6%89%80)之ヲ行フ  議員内閣制でない　 また、内閣総理大臣による大臣の罷免不可  帝国主義列強８カ国（英仏独露米伊伯日）の植民地主義  日清戦争　 清の朝鮮支配排除　 大韓帝国(1897-1910)  日英同盟　 義和団と清軍による欧米租界の攻撃に英の要請で日軍が救援  日露戦争 露の朝鮮半島侵入警戒　旅順・大連・南満州鉄道を譲受け  ポーツマス条約をルーズベルト大統領の仲介で締結 　　　その後、米国による満州鉄道への出資を認める予備協定の覚書を一方的に破棄　　　　シナ大陸での植民地競争に米国の参加を阻害 　 以降の日米関係に悪影響  辛亥革命 中華民国成立（孫文）蒋介石も革命軍に参加  第１次世界大戦 植民地分割戦争　　英仏等の連合国vs独等の中央同盟国 日米伊等は連合国として参戦  ロシア革命 共産主義国家であるソビエト連邦の誕生  四カ国条約（米英仏日） 米の日本に対する脅威 　日英同盟を終結  伊はムッソリーニ率いるファシスト党の一党独裁  世界大恐慌 　 英仏ブロック経済体制 　米ニューディール政策　　昭和恐慌(1930)  浜口内閣がロンドン海軍軍縮条約に調印　　　野党、右翼が統帥権干犯（侵害）と非難　　内閣が軍に干渉困難となるきっかけ  浜口雄幸首相狙撃 　内閣総辞職  関東軍の暴走による柳条湖事件に始まった満州事変　　満州国(1932-1945)  犬養毅内閣 　　犬養所属の立憲政友会は、在郷軍人の支持政党  五・一五事件 犬養毅暗殺 政党政治打倒をねらう  齋藤實内閣 　挙国一致内閣 　退役海軍大将が首相  ヒットラー内閣発足 　国家社会主義ドイツ労働者党の一党独裁  第１－３次近衛内閣 大政翼賛会の一党独裁(1940) 国家社会主義  日中戦争 　大日本帝国と国共合作（中国国民党＋中国共産党）との戦争  日独伊三国同盟 　反共産主義の一党独裁国の同盟  ＡＢＣＤ包囲網 　　　大日本帝国の仏領インドシナへの進駐に対する米英中蘭による貿易制裁  東條英樹内閣 |
| 1941.12-1945.8 1939-1945  1949 1950-1953  1960-1964  1991.12 | 日英米戦争  第２次世界大戦（日中戦争の一部、日英米戦争が含まれる）　　　　　　　　　　　 民主主義（英仏米中等）＋侵攻されたソ連vs 国家社会主義（日独）＋ファシズム（伊）  毛沢東率いる中国共産党が中国人民共和国を樹立　　中国共産党の一党独裁  朝鮮戦争 　 国連軍と中朝連合軍が朝鮮戦争休戦協定に署名して休戦  池田勇人内閣 　 　国民所得倍増計画 　　東京オリンピック  ソ連崩壊 　ロシア、ウクライナ等１２か国が参加する独立国家共同体 |